

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議 長	副議長	局 長	次 長	副主幹	担 当	担 当	文書取扱主任		

第 11 回 総 務 文 教 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成 24 年 2 月 6 日（月曜日）	開会 9 時 58 分	閉会 11 時 43 分
開 催 場 所	第一委員会室		
出席委員	大谷、井上、渡辺、渡邊、柴田	事務局	菊井次長
	委員外～小野、木下、山本、窪之内		寺嶋副主幹
欠席委員	水口		
説明員	別紙のとおり	議 件	別紙のとおり
議 事 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	(1) 公募による副市長候補者の選考結果について		
	(2) 東日本大震災被災地支援活動について		
	(3) 通院・買い物タクシー実証運行の結果について		
	(4) 東滝川地域の振興を考える懇談会の中間報告について		
	(5) 滝川市温水プールの民間移管について		
	2. その他について		
	休憩して前回の委員会に関する協議を行った。		
	3. 次回委員会の日程について		
	2 月 23 日（木）午後 1 時 30 分から第一委員会室で開催し、案内は省略することとした。		

平成24年2月2日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉
滝川市教育委員会委員長 若 松 重 義

総務文教常任委員会への説明員の出席について

平成24年1月11日付け滝議第156号で通知がありました総務文教常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部長	山 崎 猛
総務部次長	高 橋 一 昭
総務部参事	居 林 俊 男
総務部総務課長	田 中 嘉 樹
総務部総務課防災危機対策室長	工 藤 恒 裕
総務部総務課防災危機対策室副主幹	橋 本 正 明
総務部企画課長	中 島 純 一
総務部企画課副主幹	柳 圭 史
総務部企画課主査	稲 井 健 二

滝川市教育委員会委員長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育長	小 田 真 人
教育部長	舘 敏 弘
教育部次長	河 野 敏 昭
教育部指導参事	四十九院正 満
教育部社会教育課長	竹 谷 和 徳

(総務部総務課総務グループ)

第11回 総務文教常任委員会

H24. 2. 6 (月) 午前10時00分
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《総 務 部》

(1) 公募による副市長候補者の選考結果について

(資 料) 総 務 課

(2) 東日本大震災被災地支援活動について

(資 料) 防災危機対策室

(3) 通院・買い物タクシー実証運行の結果について

(資 料) 企 画 課

(4) 東滝川地域の振興を考える懇談会の中間報告について

(資 料) 〃

《教 育 部》

(5) 滝川市温水プールの民間移管について

(資 料) 社会教育課

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

2月23日（木） 13時30分 第一委員会室

○ 閉 会

第11回 総務文教常任委員会

H24. 2. 6 (月) 10:00～

第一委員会室

開 会 9 : 5 8

委員動静報告

委員長

欠席～水口。委員外～小野、木下、山本、窪之内。

委員長

1. 所管からの報告事項について

(1) について説明願う。

居林参事

(1) 公募による副市長候補者の選考結果について

昨年秋より進めてきた副市長の全国公募について、2月4日に最終選考として個別面接を行い、副市長候補者が決定したので報告させていただく。

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。

渡 辺

ただいまの報告では人格、識見ともに高いものを持ち合わせているとのことだったが、当分は総務部とタイアップしてやっていかなければいけないと思う。仕事をまじめにやればやるほど総務部との行き違いが出てくることもあると思うが、その点について見解を求める。行政改革についてやる気のある人であればあるほど敵は100万人、こちらは1人といった状況が生まれるのではないかと。市長も本心は賛成でも支持者や市職労の顔色を見て無理だということも予想される。反対に職員によくなじんで旧来の慣例に従っているほうが得策だと手をこまねく場合も考えられる。選挙で選ばれた副市長であれば決意のほどもあるかもしれないが、市長から選任されても複雑多岐な職場の対人関係の中で、市長の刷新という方針を副市長に依存するのは難しいのではないかと考えるが、現在の総務部の見解を求める。

委員長

今までに公募するかしないかといった時点でその辺の論議はされているので、答弁は結構である。他に質疑はあるか。

渡 邊

対象者5名、括弧書きで1名辞退となっているので、4名から選考したということでしょうか。

居林参事

資料にもあるが1次選考の合格者が6名で、1名が辞退されて対象者が5名となった。5名の方の面接を行ったということである。

渡 邊

選考理由は書かれているが、ほかの4名との大きな違いがあれば伺う。

居林参事

面接官の方から直接的に感想を聞いているが、5名の方は皆さん優秀で、真摯に滝川市のために頑張りたいというような話をいただいた。その中で鈴木光一さんが選ばれたのは、滝川市が求める企業誘致を初め、経済活性化、市役所改革に一番力を発揮していただけるだろうという判断がされたのと、職務経験が教育にもわたっており、幅広い活躍が期待されるというふうに判断されたものと考えている。

委員長

他に質疑はあるか。

柴 田

① 履歴書に株式会社オーガニック・ギルドとあるが、この会社についてわかる範囲で伺う。

② NPO法人ジャパン・プラットフォームは大変有名な組織だが、どういった経緯でこの事務局長に就任されたのか伺う。

居林参事

① 株式会社オーガニック・ギルドという会社は、二十数社による有機加工食

	品の統一ブランドを管理しており、三井物産の社員数名で立ち上げた会社のようなものである。ブランドを統一することにより輸入販売なども含めてスーパーなどに卸すような中間の会社である。きちんとしたブランドを持つことによって商品の販売に信用をつけるといったことを考えたようである。
柴 田	② NPO法人ジャパン・プラットフォームは、経団連や外務省が中心になって運営されているが、オーガニック・ギルドという会社がジャパン・プラットフォームに出資というか給与負担をするような形で派遣されたと聞いている。オーガニック・ギルドについて、例えばイオングループが統一ブランドでいろいろな商品を仕入れているが、それを商社などがあちこちにある商品を集めて統一ブランドにするなどのコーディネートをしていたと理解してよいか。
居林参事	私どももホームページで見たが、有機食品に傾注しているようである。現在はある食品会社との合併会社になっており、三井物産の方がいるのかはわからないが少し形が変わったというふうに聞いている。
委 員 長	ほかに委員から質疑はあるか。(なし) 委員外議員からあるか。
木下委員外議員	滝川に住むのか確認したい。
委 員 長	この質疑を認めることでよいか。(よし) 3分以内で質疑願う。木下委員外議員。
木下委員外議員	副市長に選任された場合、滝川市に居住するのか伺う。
居林参事	滝川市に在住することの確認はとっている。
委 員 長	他に質疑はあるか。
窪之内委員外議員	レポートの公開と履歴書の中身についての2点を伺いたい。
委 員 長	2点の質疑について認めることでよいか。(よし) 3分以内で質疑願う。窪之内委員外議員。
窪之内委員外議員	① 公募に当たってレポートの提出を求めたが、面接を行った5人のレポートを公開するのか伺う。 ② 履歴書の中で、三井物産には長く勤められているが、そのほかは転々としているような印象を受ける。重要な部署にしながら1年足らずで辞めている点について、成果を上げて辞めているのか。自分の任務を短期間で終えたからという理由で職が変わっているのか伺う。
居林参事	① 今回の公募に当たっては、申込書、経歴書、滝川市にできることということでの論文をお願いした。副市長候補者になられなかった4人の方については、名前も含めてすべて非公開と考えている。鈴木さんに関しても同様に非公開と考えているが、論文の内容としては、滝川市の経済活性化ということで具体的な提案、また教育に関しての話もあった。副市長になられた折に本人から議会の皆さんにも話があるものと考えている。 ② 三井物産の後の日鉱金属も大きな会社だが、金属関連でそちらの会社に移られている。オーガニック・ギルドに関しては三井物産の方々に設立した会社であり、その中でも非常に優秀な方ということで、宇治山田商業高等学校の後にさらに取締役という責任の重い立場で行かれているので、転々というよりも三井物産も自分自身でもっとやりたいという思いがあって退職されたと聞いているので、その辺については理解いただきたい。
窪之内委員外議員	宇治山田商業高等学校も公募だったわけだが、心配するのはそういう思いが副市長になった後の契約期間中にまた辞退してどこかに行くのではないかということである。その辺についてはいかがか。
居林参事	今心配するのも変な話だが、非常にいろいろな経験をされており、自信を持つ

	て活動される方だと思っているので、市長も職員も相当教えてもらうことが多いのではと思っている。逆に期待にこたえなければならないといったことも含めて、これから副市長が2人ということで職員もその辺の気構えをきちんと持つようなことで考えていると思う。
委員長	他に質疑はあるか。
副委員長	出身はどこか。家族構成はどうなっているのか。家族も一緒に来るのか。健康な人なのか伺う。
居林参事	生まれた場所がどこかは聞いていないが、中学も高校も東京都なので恐らく関東と考えている。年齢的にも62歳ということでお子さんも既に独立されているということである。奥さんも一緒に来られるかどうかについては、これから話をするとのことである。それぞれ事情もあるので単身というケースもあるのではと思っている。本人からは健康は良好とのことだが、痛風の経験があるとは聞いている。
委員長	他に質疑はあるか。(なし)(1)については報告済みとする。(2)について説明願う。
	(2) 東日本大震災被災地支援活動について
工藤室長	(別紙資料に基づき説明する。)
委員長	説明が終わった。質疑はあるか。
渡 邊	楽器は新品なのか中古なのか伺う。
工藤室長	相手側は新品を希望しているので新品ということで考えている。
渡 邊	本来震災の関係というのは、ボランティア的な発想がスタートだったと思う。行政的な支援がこのようにいくと次から次となると思うが、そういった予定があるのか伺う。
工藤室長	市としては、今後においても息の長い支援ということで市長も議会で答弁しているが、24年度も含めて支援していきたいと考えている。
渡 邊	24年度の予算に計上されているのか伺う。
工藤室長	新年度については、これから提案することで考えている。
委員長	他に質疑はあるか。
柴 田	被災状況を勘案すれば、PTA会費、親の負担が大きいこういった楽器などを購入する経費に充てたいというのは至極最もなことと思う。ただほかにもPTAや親の負担を要請しなければいけないようなものが幾つか並べられていたのか。今回はこの部分が最も負担が大きいので、できれば子供たちの活動のためにということでの要請なのか、その辺について伺う。
工藤室長	宮古市の教育委員会の見解では、今回は楽器ということで要望があったが、クラブ活動には運動系もある。ただ今回については高額ということもあり楽器のほうの支援をいただきたいということだった。スポーツ関係もあるので、今後宮古市とそういった部分への支援を進めていくということもあるかもしれない。
委員長	他に質疑はあるか。(なし)(2)については報告済みとする。(3)について説明願う。
	(3) 通院・買い物タクシー実証運行の結果について
稲井主査	(別紙資料に基づき説明する。)
委員長	説明が終わった。質疑はあるか。(なし) 委員外議員からあるか。
木下委員外議員	もう少しルートを南に寄せてもらえないかという意見が多かったなので、その点について伺いたい。

委員 長 今の質疑を認めることでよいか。(よし) 3分以内で質疑願う。木下委員外議員。

木下委員外議員 現在のエリアは15丁目以北となっているが、14丁目から11丁目あたりについて行う考えがないのか伺う。

稲井主査 当初の地域の設定の考え方だが、江部乙中央通りの停留所から直線距離でおおむね1キロメートルということで線を引いた。バス幹線から遠い方、あくまでバスにアクセスしづらい方ということで線を引いたところ、15丁目以北というエリアが設定できたところである。滝川市内においては、まだまだ同様の地域がほかにもあると思うが、予算の範囲も含めてモデル地域として今回このような形で、特にお困りではないかという想定の中で設定させていただいた。まずは今回の結果を踏まえて、今後について時間をかけて検討していきたい。

委員 長 他に質疑はあるか。(なし) (3)については報告済みとする。(4)について説明願う。

(4) 東滝川地域の振興を考える懇談会の中間報告について

稲井主査 (別紙資料に基づき説明する。)

委員 長 説明が終わった。質疑はあるか。(なし) 委員外議員からあるか。

窪之内委員外議員 総合計画の3拠点の一つとしての東滝川地域の振興を考えるということで出てきたことなので、この懇談会というのはどういう形でいつまで続けられるのかということ、総合計画の中でこれらの19点のことが位置づけられるのかということ、ほかの2つの拠点についてのこうした地域振興について、今後どのような計画を立てていくのか伺いたい。

委員 長 3点の質疑について許可することでよいか。

渡 邊 総合計画のことは特別委員会でやればいいのか。東滝川に絞っての質疑ならいいのか。

委員 長 他の委員はどうか。3点とも認めることでよいか。(よし) 3分以内で質疑願う。

窪之内委員外議員 窪之内委員外議員。この東滝川の振興を考える懇談会を設立した目的そのものがコンパクトシティの中の一拠点としての具体化を図ることだと思っているが、この懇談会が今後どういう形で存続されていくのか。全体の中で東滝川だけが進んでいくのではないかという印象を受けるので、ほかの2カ所との関連で伺う。要旨を3点としたが、それぞれ関連があるということでまとめて伺う。

柳副主幹 東滝川地域の懇談会ができたきっかけとしては、コンパクトシティということももちろんあるが、その前から東栄小学校の廃校の部分もあって、地域をもっと若い人に盛り上げていただくためにどうしたらいいのか、地域資源を生かしながら取り組んでいくことについて、行政も参加して地域の町内会の方が中心となって懇談会を開いて検討してきたのが背景である。必ずしもコンパクトシティだけではなく、地域振興を地域の方と行政とが一緒になって考えていこうというのが趣旨である。まだ19項目があるので、地域の方とも相談しながら1つ1つの項目について、今後も協議していこうということにしているが、特に期限は現段階では設けていない。できるところから始めていっている状況である。江部乙については特に東滝川に連合町内会をベースにというよりは、地域でいろいろ活動されている団体があるので、そういう方々と事前にいろいろとお話をさせていただきながら、どういう組織がいいのかといったことなどを相談しながら進めているところである。現段階では1団体としか話し合いができていないが、農産加工を行っているグループの方などもおられるので、そうい

った方々とも打ち合わせさせていただき組織会に向けて取り組んでいこうと思っている。そういうことに関して総合計画の中で東滝川と江部乙については、地域資源を生かして何か地域振興を図るような取り組みを進めていくことでは記載しようと思っており、総合計画の特別委員会でお示した原案の中にも記載しているところである。

委員長

他に質疑はあるか。(なし)(4)については報告済みとする。(5)について説明願う。なお、説明員名簿にない嘱託職員と指導参事が入っているが入室を許可している。

(5) 滝川市温水プールの民間移管について

竹谷課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。

副委員長

駅前のビルと同じでこういう場所でもそれを利用している各種団体がある。それらの団体との関係を整理してからプロポーザルに持っていけないとネックになる。そのあたりのことについては、きちんと了解され整理されているのか伺う。

竹谷課長

現在温水プールを利用している団体は6団体あり、これまで民間移管についての説明をしてきた。5団体は、民間になればその中でプールの教室が開かれるということで解散というか終了するという話を聞いている。残る1団体については、継続できるのかといった部分について民間業者との話し合いの場をつくることで話している。募集が開始されたら、再度皆さんにお集まりいただき、内容を説明していきたいと考えている。

委員長

他に質疑はあるか。

渡 辺

① 企業であれば望ましいが、団体でも可能なのか伺う。

② 15年という足かせをはめて譲渡するわけで、応募がなかった場合は市で直営するのか伺う。

竹谷課長

① 15年間継続してやっていただくことを考えると、単なる団体ではなく法人格がなければ法人格を取って申請していただくことで考えている。

② 応募の状態によって条件をもう少し緩和すべきなのかということも考えなければならぬと思うが、再度公募することもあるし、現時点で考えているのは、今回は応募の確率が非常に高いのではないかと考えており、何とか条件を整えば決めたいと考えている。

委員長

他に質疑はあるか。

渡 邊

① プロポーザル方式を15年に設定した根拠を伺う。

② 仮に契約となった場合、表の活用基本方針に基づく試算の三角のついてい金額を採用された団体に支払うことになるのか伺う。

③ 市からこれだけの金額が行くとなると、固定資産税についても前納という方式をとることが可能なのか伺う。

竹谷課長

① 鉄骨造ということを見ると耐用年数が45年から50年くらいということで、ちょうど残存年数ということになると15年が一つのめどということで15年という設定にした。余り短くなると企業が出るときに金融機関からの融資等を受けるのに厳しい状態で出てこれないだろうという考えからである。

② この表の三角の土地や建物の無償譲渡の金額は、無償で譲るので市にこれだけの損失があるという部分である。市が支出するのは、市民利用の補助金1,872万円、学校プール授業委託料350万円の以内で支出したいと考えている。

	③ 前納とすることができるのかどうかは調べていないが、通常であれば納期が決まっており4期で納めていただく形になる。毎年補助金の申請をしていただくので、税の滞納があると次の補助金の申請の該当にはならなくなる。
渡 邊 竹谷課長	大規模改修の1,230万円も単年度の上乗せの金額という解釈でいいのか伺う。大規模改修の部分については、1億8,000万円くらいかかると試算しているが、民間業者が15年でそれを割って単年度にするとこれくらいになるだろうということである。
渡 邊 竹谷課長	単年度で運営する金額は、現行の収支のところに書かれている運営管理に要する経費ということなのか伺う。 市の補助金としては、プールを安全に15年間継続していただく中で9コースを継続していただくが、3コースは市民が専用的にこれまでと同じように使えるという部分に対して単年度で1,872万円を支出したいということである。それと学校のプール授業で利用するというので350万円を支出する。この部分が、市が事業者毎年15年間支出する部分である。事業者は、それをもらった上で単独経費の中で大規模改修をしたり、運営管理費を支出していただくことで考えている。
委 員 長 柴 田	他に質疑はあるか。 資料に用途の制限があるが、プロポーザル方式にする趣旨は、民間からの企画提案を求めるものとなっているが、プールを主体とするというのはわかるが、フィットネスとかトレーニングマシン等の複合健康施設とするということで、なぜ公募型のプロポーザル方式にするのに、そこまで用途を制限する必要があるのか。ここの表現としては、プールを主体とする健康増進施設などといった表現が入るべきで、初めからこういったもので試算してくださいというような前提になってしまうのではないかと。こういう施設ができることを前提に公募するというのはいかがかと思うが、考えを伺う。
竹谷課長	委員が言われるとおりだが、どんなものが健康増進になるのかということで例示を前につけ足して入れさせていただいたが、そういうことでの複合の健康施設ということで考えたところである。
柴 田	予断が生じる。民間にゆだねるのならば、民間の競争によって得られるものが出てくる。こういう条件をつけることであらかじめ競争が働かない原理が生じる場合があるので気をつけていただきたいということである。これはあくまでも基本方針として受けとめているので、これ以上は申し上げないが、実施に至る場合には、こういった予断を与えるような、民間のアイデアをそぐことがないように配慮する必要があると思うので、そのことだけ指摘しておく。
館 部 長	私どもの目線で表現しているので、誤解のないようにプールを主体とした健康増進施設といった形の中で表現を修正していきたい。
委 員 長	他に質疑はあるか。(なし) 委員外議員からあるか。
木下委員外議員	無償譲渡の行き先について伺いたい。
委 員 長	この質疑を許可することによいか。(よし) 3分以内で質疑願う。木下委員外議員。
木下委員外議員	① 無償譲渡の行き先が何方所か想定されているとのことだが、あと1カ月で譲渡条件をクリアできるのか伺う。 ② 補助金1,872万円と学校プール授業委託料350万円は譲渡先に支払うことで確認してよいか伺う。

- 竹谷課長 ① 旭川や札幌の業者からも情報が欲しいということで連絡が来ている。その中である程度の感触をつかんでいたので今回公募することになった。この条件についても、話の中でクリア可能との感触を得ている。
- ② 補助金等の支出については、言われたとおりである。補助金についてはあくまでも決定してから申請をいただき、24年度はオープン以降の月割りで支出をしていきたいと考えている。
- 委員長 他に質疑はあるか。
- 窪之内委員外議員 公募に当たって応募業者を多くするためにどのような努力をしているのかということと単年度積算の金額について伺いたい。
- 委員長 2点の質疑を認めることでよいか。(よし)3分以内で質疑願う。窪之内委員外議員。
- 窪之内委員外議員 ① いろいろ全国的なところからよりすぐれたプロポーザルでの応募があることが望ましいが、広く応募してもらうための努力が必要と思う。その辺についてどのような努力をしているのか伺う。
- ② 市の補助金については、固定的な金額と理解してよいのか伺う。15年の間にいろいろな変動があると思うが、今後変動する可能性があるのか伺う。
- 竹谷課長 ① 全国的な公募も考えたが、今回は道内の事業所に絞りたい。全国的な部分だと収支などの面で採算がとれなくなるとすぐに撤退してしまう可能性が高いだろうということで、まずは道内でお願いしていきたいと考えている。
- ② 補助金なので公募条件の中では補助金で最大15年支出することであうが、あくまでも毎年の申請なので、金額についても1,872万円ということで積算しているが、これが最大限ということでの表示である。若干の変動の中で毎年の補助金の申請で審査をして補助金を出すという形で考えているので、これを固定するというではない。
- 窪之内委員外議員 道内の事業者に絞りたいということ言えばどの程度の事業者があるのか。またどの程度の事業所に公募の案内をするのか伺う。
- 竹谷課長 これまで来られているところは3社ほどあるが、募集時期が決まればホームページ、新聞等に公募のPRをしていきたいと考えているので、それ以外にも応募が来る可能性はあると思っている。道内の事業者は全部は調べてはいないが、5社程度ある。
- 委員長 他に質疑はあるか。(なし)(5)については報告済みとする。
- 2. その他について**
- 委員長 先日の委員会について協議したいので、若干休憩する。
- 休 憩 11:28
- 再 開 11:42
- 委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。
- 3. 次回委員会の日程について**
- 委員長 2月23日木曜日、午後1時30分から第一委員会室で開催する。案内は省略するので承知おき願う。以上をもって第11回総務文教常任委員会を閉会する。
- 閉 会 11:43